

◎「青谷図書室」に行ってみよう

「こんなにたくさんの本があるんだ」「新刊がすぐに借りれたよ」「図書室ってどこ？」
「図書室は、どこから入るの?」「学習コーナーがもっとあればいいのに」
「こんなに本があるのに、もったいないなあ」「待ち時間に読めたらいいのに」



★図書室をさらに魅力的にし、たくさんの人に利用してもらおう

★子どもも大人も本に親しむ環境を作ろう

<現状>

- ・蔵書 約 36000 冊
- ・最近、利用者が減少してきた
- ・図書イベントの開催……「音読教室」
「すくすく保育園おはなし会」
「本のリサイクル市」

<提案>

◎図書室の存在をPRする

- ・外から見えるよう窓にディスプレイ(季節ごとの飾り、図書室看板)
- ・支所に来たついでに、図書室へ誘導する工夫を
- ・図書室廊下側のソファコーナーの活用
- ・もっと支所職員の利用を増やす

◎学習コーナーの増設

- ・小中学生、高校生など長期休業中の利用を促す

◎小中学校との連携を密にする

- ・小さいうちから図書室を身近な存在にする



子どもから大人へ、そしてまた子どもへ

長い長い人づくり、町づくりにつながるのではないのでしょうか